

所在都道府県	二次医療圏	施設名	病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。
東京都	北多摩南部	医療法人社団碧水会長谷川病院	精神疾患は多くの場合、画像診断などで明確に説明できない、目に見えないものを取り扱う特殊性ゆえに、他職種による治療チームのかかわりが治療には不可欠である。精神科医、内科医、看護師、作業療法士、臨床心理士、薬剤師、栄養士、精神科ケースワーカーなどから構成される治療チームが、様々な角度から疾患をとらえ理解していくことにより、全体像が見えるようになり、適切な治療へと向かうことが可能となる。神経精神科研修において、十分な研修環境および指導体制がある。
千葉県	東葛南部	東京ベイ・浦安市川医療センター	東京ベイ・浦安市川医療センターは、「グローバルにも地域医療にも通用するジェネラリスト育成」を方針としている。①国際標準に則った臨床研修のスタンダード化のためのロールモデル、②研修病院としてJCI、研修プログラムとしてのACGME-I認可、③チーム医療でのマグネットホスピタル、④医師育成での卒前医学教育・卒後臨床研修・生涯教育の一貫性、をビジョンとしている。 2014年度版初期臨床研修プログラム作成にあたっては、厚生労働省の新医師臨床研修制度の研修理念、到達目標の達成を必須の目標としている。現在の卒前教育の現状を考慮し、ACGMEが定める6コンピテンシー（中核的な臨床能力）のうち基本的な部分の習得を努力目標としている。十分な研修環境および指導体制がある。研修医指導に関する情報を共有し、両施設（聖マリ医大病院、東京ベイ医療センター）の特徴を理解した指導医による研修を可能としている。
東京都	区南部	医療法人社団あおい会森山医院	2次医療圏に隣接しており、連携実績もある。慢性期医療をより高度かつ適切な医療を行っている。近隣の医療施設からの紹介患者さんに関しては、的確に対応し、十分な報告を速やかに言い、地域連携をよりスムーズにすることで、患者さん中心の安心できる医療を実現できている。十分な研修環境及び指導体制がある。
東京都	島しょ	三宅村国民健康保険直営中央診療所	三宅島中央診療所の救急患者搬送、夜間休日診療、島嶼救急ヘリ搬送者、救急ヘリ搬送など、島ならではの研修の実験を経験できる。十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、離島振興法の指定地域にある。
岩手県	両磐	医療法人社団愛生会昭和病院	愛生会昭和病院は一関に昭和4年に開院し地域に密着した医療を提供している。平成24年春に新築移転致し、より快適な療養環境を過ごせる空間や最新医療機器の拡充による救急医療の充実、IT化整備など新たな研修環境を備えている。 当院を退職した医師が院長となられ、当研修センターと密接に連絡をとりながら連携を深めている。病院長以下、多職種のスタッフの下、地域に密着した医療を研修させていただくべく、研修協力病院として提携していただいている。過疎地域自立促進特別措置法の指定地域にある。
福島県	南会津	医療法人南嶺会なかやクリニック	当院を退職した医師が院長となられ、当研修センターと密接に連絡をとりながら連携を深めている。地域に密着した医療を研修させていただくべく、研修協力病院として提携していただいている。十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、山村振興法の指定地域にある。
福島県	相双	公立相馬総合病院	福島県浜通り北部に位置し、相馬地方の中核病院として、昭和45年設立以来地域住民が求める地域医療を提供している。 研修についても初期医療から救急医療、住民健診まで幅広く経験可能な地域完結型の病院である。さらに、近隣には、老健施設等もあり、保健、医療、介護、福祉などの知識を理解し、地域の中で医療が担う役割について理解するには最適な環境である。 平成23年3月に発生した東日本大震災と、そして、原子力発電所の放射能流出事故による医療復旧は進んでおらず、研修中は、通常の研修では経験することのない症例にかかわらざるを得ず、この体験が将来の医療人形成に大きく寄与するものと考えられる。山村振興法の指定地域を含む。
福島県	いわき	社団医療法人養生会かしま病院	いわき市では高齢患者が急増していることから、「家庭医・総合診療医の育成」に積極的に取り組んでいる。慰労・介護・福祉をシームレスに学べ、質の高いプライマリケアの研修が可能である。山村振興法の指定地域を含む。
石川県	能登北部	市立輪島病院	能登半島北部地域において、災害拠点病院としての役割や救急医療、へき地医療等の地域に必要な医療を実施している。他施設の研修医の受け入れ実績もあり、十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域にある。
石川県	能登北部	珠洲市総合病院	疾病の予防から在宅医療までの一環した体制が整っている。地域の医療機関等との連携を図り、地域に不足している分野の強化推進と、地域における役割分担の実際を学ぶことができる。他施設の受け入れ実績もあり、十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域にある。
石川県	能登北部	公立宇出津総合病院	院外における病院一病院、病院一診療所、さらに福祉、保健機関との連携をも重視した医療の実際を学ぶことができる。他施設の受け入れ実績もあり、十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域にある。
石川県	能登北部	公立穴水総合病院	能登全域の住民に高品質の医療を安全に提供することを基本方針に掲げており、他施設の受け入れ実績もあり、十分な研修環境および指導体制がある。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域にある。
鹿児島県	奄美	医療法人徳洲会名瀬徳洲会病院	医療設備的にはなんら都会と差異はないが、地域社会の高齢化が進んでおり、独居老人・老々介護に接する機会が多い。 急性期の症例を数多く経験するよりも、一人の患者に対して基礎疾患を把握した上で、急性期・慢性期の診断を行い、外来・入院時の治療方針を決定。その後在宅へ戻す事を経験することにより、一人の患者の基礎疾患から急性期症例の診断・治療、さらに介護施設等との連携まで、全人的な診療の流れを学習・実践することができる。 さらには、家庭環境を踏まえた、家族に対する病状説明や時にはNoCPRへの対応や見取りの体験なども、今後の医療サービスには重要なスキルになると思われる。 奄美群島振興開発特別措置法により、へき地・離島とされる。
鹿児島県	奄美	医療法人徳洲会沖永良部徳洲会病院	医療設備的にはなんら都会と差異はないが、地域社会の高齢化が進んでおり、独居老人・老々介護に接する機会が多い。 急性期の症例を数多く経験するよりも、一人の患者に対して基礎疾患を把握した上で、急性期・慢性期の診断を行い、外来・入院時の治療方針を決定。その後在宅へ戻す事を経験することにより、一人の患者の基礎疾患から急性期症例の診断・治療、さらに介護施設等との連携まで、全人的な診療の流れを学習・実践することができる。 さらには、家庭環境を踏まえた、家族に対する病状説明や時にはNoCPRへの対応や見取りの体験なども、今後の医療サービスには重要なスキルになると思われる。 奄美群島振興開発特別措置法により、へき地・離島とされる。
東京都	区西南部	厚生中央病院	2次医療圏に隣接しており、連携実績もあり、研修環境が充実している。全国土木建築国民健康保険組合（被保険者数約42万人）の直営病院として、1959年に創立。「患者さんから選ばれる病院」「職員が安心と誇りをもって働ける病院」等の目標を、職員全員が共有し、公明正大で隠さない正直な文化を誇りとしている。また、「心の通った温もりを感じる医療を目指す」ことを理念としている。
東京都	南多摩	稲城市立病院	2次医療圏に隣接しており、連携実績もあり、研修環境が充実している。約8万7千人の東京都稲城市民を中心に南多摩地区の住民の一人ひとりに、安心・信頼とぬくもりの医療を提供する290床の地域基幹病院である。医局は様々な大学から出向している若手医師が多数在籍しており、出身大学、診療科の垣根を超えて仲良くなり、相談事ができる。研修医は上級医の監督下で軽症から重症なcommon diseaseの診療、さらに専門的診療まで幅広く経験でき、大病院とは異なった濃密な研修が可能である。
千葉県	香取海匝	島田総合病院	医師不足地域における地域医療研修であり、連携実績もあり、研修環境が充実している。香取海匝（二次医療圏）は医師偏在指標162.2で全国335中で176位となっている。
北海道	南渡島	松前町立松前病院	医師不足地域における地域医療研修であり、研修環境が充実している。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域にある。

所在都道府県	二次医療圏	施設名	病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。
静岡県	熱海伊東	伊東市民病院	伊豆半島東部地域の中心的役割を担う急性期の拠点病院で、年間3000件以上の救急車を受入れ、様々な症例を入院時から退院時まで担当できます。屋根瓦式の研修体制で、当院や東京ベイ・浦安市川医療センターからの後期研修医の指導により、相談しやすく、教育的な環境の中で研修ができる。熱海伊東(二次医療圏)は医師偏在指標142.0で全国335中で236位の低位となっている。
静岡県	駿東田方	静岡医療センター	循環器・がん・救急・総合診療を4本柱として掲げ、急性期病院として豊富な症例を経験できます。初期研修の定員は少ないが、それゆえに自分で経験できる症例・手技は非常に多い。(駿東田方(二次医療圏)は医師偏在指標202.9で全国335中で96位の上位となっている。)
静岡県	富士	富士宮市立病院	約15万人の診療圏を持つ地域唯一の中核的な総合病院である。病床数は350床、医師数は約60名であり急性期及び2次救急病院としての役割を担うため、豊富かつ多彩な症例に対応している。総合診療に重点を置き、将来、医師として独り立ちするのに必要な領域と奨励の多くを経験することができます。富士(二次医療圏)は医師偏在指標143.3で全国335中で232位の低位となっている。
静岡県	富士	富士市立中央病院	富士市唯一の基幹病院として、地域医療の要になっています。慈恵医大、浜松医大、山梨大学、日本歯大などで豊富な臨床経験を持つ医師が指導に当たり、20人余りの後期研修医が勤務する病院である。地域医療連携がとて円滑なこともあり、優れた指導医のもとたくさんの貴重な経験を積むことができる。富士(二次医療圏)は医師偏在指標143.3で全国335中で232位の低位となっている。
静岡県	駿東田方	沼津市立病院	連携実績がある、急性期医療を担う24の診療科と426床の入院病床を有する静岡県東部の基幹病院である。24時間体制で3次救急に対応する救命救急センター、緊急患者搬送用のヘリポート及び消防救急ワークステーションを併設している。初期研修では、豊富な症例、層の厚い指導医、各診療科の枠を超えて多種多様な症例を経験できるよう配慮されている。過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法の指定地域を含む。